

いちご営農情報（台風第15号対策）

令和7年9月4日 JA はが野・芳賀農業振興事務所

令和7年9月4日 12時45分の気象庁の発表によると、台風第15号は、種子島の南約60キロを1時間におよそ20キロの速さで北へ進んでいます。

今後、台風の接近に伴い、大雨や強風等の影響が懸念されることから、以下の技術対策について早めに準備・対策を行いましょう。

1 事前対策

(1) 育苗及び本ほハウスの補強・修繕やハウス周辺の排水、病害防除等の準備をしておく。

2 事後対策

(1) 排水対策、ベットの修復

⇒ 降雨により浸水・冠水したほ場では、小型ポンプによる強制排水を行う等、速やかに排水を行う。

⇒ 浸水等によりベットが崩れたほ場では、土壌がある程度乾いてから崩れたベットの修復を行う。

(2) 本圃管理

⇒ 浸水等により新芽部分が土壌に埋没した場合、新芽部分の土壌を除き、土壌から露出した状態に戻す。

⇒ 草勢回復対策として、強風により苗がもまれた場合、葉面散布（メリット青等）を行う。

⇒ 浸水等があったほ場では、発根促進のため酸素供給剤（はが野ルートパワーα液剤等）や発根促進剤（ハッコニシ等）を使用する。

(3) 炭疽病対策

⇒ 炭疽病が発生しやすくなるので、台風通過前後は薬剤防除を実施する。また、台風通過後、浸水等により苗に土が付着した場合、土を洗い流すように薬剤散布を行う。

効果	病害名	農薬名	使用時期	使用回数	使用倍率
予・治	炭疽病 うどんこ病	サンリット水和剤	収穫前日 まで	3回	うどんこ病 2,000～4,000倍 炭疽病 2,000倍
予・治	炭疽病	ゲッター水和剤	収穫21日 まで	3回	1,000倍
予	炭疽病 灰色かび病	セイビアーフロアブル20	収穫前日 まで	3回	灰色かび病 1,000～1,500倍 炭疽病 1,000倍

◆農薬を使用する前には、ラベル・栽培日誌を確認し、使用基準を遵守しましょう。

◆上記農薬以外についても在庫状況をご確認いただき、在庫があるようでしたらそちらをお使いください。